



(上)外装アルミ板の背後に設置したライトアップ演出用照明器具「アーキライン」が建物を彩る
(下左から)緑色、赤色、国旗「日の丸」をイメージしたライトアップ演出の変化

横浜BUNTAI

建物のダイナミックなカラー演出を 変化を確認しながらリアルタイム調整

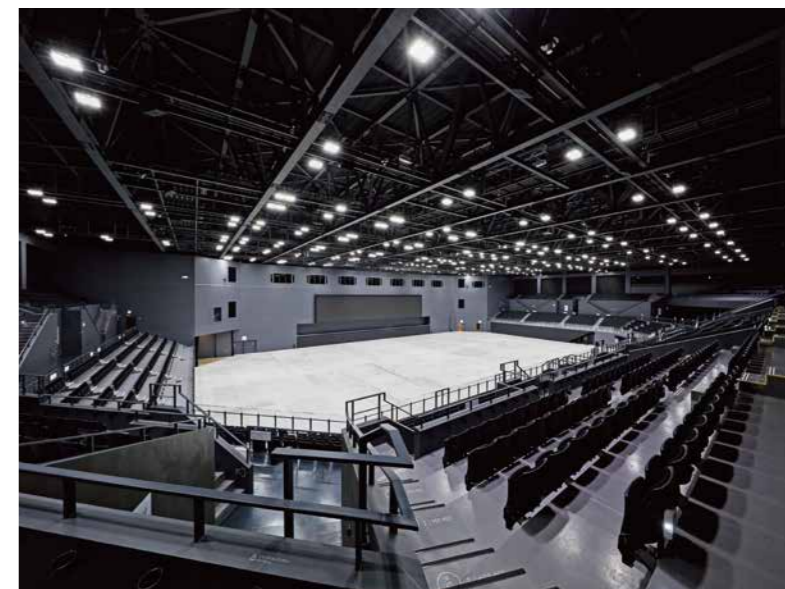
58年にわたって「文体」の愛称で市民に親しまれてきた横浜文化体育館が建て替えられ、2024年4月に「横浜BUNTAI」としてオープンした。約5千人が観戦できるメインアリーナには、21種類の競技に対応した、国際大会の設計基準を満たすLED高天井用照明器具 (Ra83) が採用されている。また、スポーツだけでなくコンサートやイベントにも利用できるよう、座席を一部収納して広く使用したり、舞台演出照明設備を整備するなど、多目的利用に対応している。建物外観は横浜の浜風を受けて進む船の帆を

コンセプトとして、曲線を取り入れたデザイン。外装アルミ板に80mmの穴を開け、内壁のドット模様と干渉させることで、移動すると帆がたなびくような視覚効果を与えている。また、外装板の裏側にライトアップ演出用照明器具「アーキライン」を組み込み、四季やイベントによりカラー演出を実施している。ここで照明演出に用いたのが、パナソニックのリアルタイム照明シミュレーションツール「ライトニングフロー」。ライトアップ演出「コントローラAREAS」を手元のPCから遠隔制御することで、演出を確認しながら短時間で現場調整が完了する。これにより、屋外における調整作業の負担軽減が期待されている。

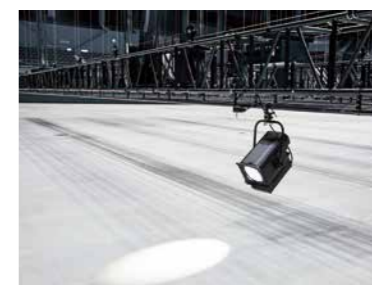


横浜BUNTAI

■横浜文化体育館 再整備事業
所在地 / 神奈川県横浜市中区不老町
事業主 / 横浜市
管理運営 / 株式会社YOKOHAMA文体
設計 / 梓設計・アーキボックス・大成建設設計共同企業体
外観・外構デザイン監修 / 株式会社スタジオ ゲンクマガイ
外観照明デザイン監修 / LIGHTDESIGN INC.
施工 / 大成建設・渡辺組建設共同企業体
電気工事 / 株式会社関電工
開館 / 2024年4月
規模 / 地上3階建 (延床面積:約15,462.95m²)



国際大会の設計基準を満たすLED高天井用照明器具が採用されたメインアリーナ

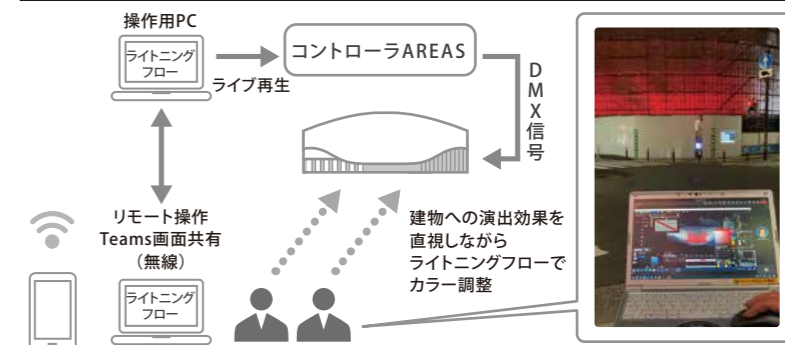


舞台演出用のボタン装置とLEDスポットライト



フェーダが増設された記憶調光操作卓「バステルプレノ」

「ライトニングフロー」を用いたリアルタイム演出設定



主な納入設備

- ライトアップ演出用照明器具
- LED高天井用照明器具
- LEDダウンライト
- 「コントローラAREAS」
- LEDスポットライト
- LEDガーデンライト
- 照明制御システム「FreeFit」

照明演出の動画を
ご覧いただけます

